

船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009門第154号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年10月20日 04時40分ごろ	
発生場所	鹿児島県南さつま市坊津所在 峰ヶ崎灯台から真方位305° 1.05海里付近（概位 北緯31° 16.92′ 東経130° 11.99′）	
事故等調査の経過	平成21年10月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 漁船 久美丸、9.4トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 KG2-2737（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、一級小型船舶操縦士</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 左舷ビルジキール及び燃料タンク外板部周辺に擦過傷及びき裂</p>	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか1人が乗り組み、南さつま市坊津町沖の千貫瀬付近の漁場から、坊之浜漁港へ向け6～7ノットで南東進中、ローリングで甲板上の物が動くのを見ていたところ、平成21年10月20日04時40分ごろ、予定針路から外れて乗り揚げ、燃料油約200ℓを流出した。</p> <p>本船は、自力で離礁して帰港した。流出油は、オイルマットで回収された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北北西、風力 6、視界 やや不良</p> <p>海象：潮汐 上げ潮中央期、波高 約2.5m</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、坊津町沖を南東進中、船位を適切に確認しなかったため、予定針路から外れて航行していることに気付かず、浅所に乗り揚げた可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が坊津町沖を南東進中、船位を適切に確認しなかったため、予定針路から外れて航行していることに気付かず、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。</p>	